

12月10日（土）1限目「自分らしく暮らすために

60代から始めるライフ&マネープラン」

担当教員：経営情報学部 総合経営学科

神余 崇子 教授

金融教育は重要でありながら、受け入れられ始めたのはここ最近だそうです。講義では話題になった「老後資金 2,000 万円問題」を例に年金やライフプランニングについて取り上げました。

終活の一環として、相続についても例を用いた解説がありました。電子マネーなどのデジタル遺品の相続はサービスごとに異なるそうで、SNS のアカウント含め現代ならではの問題かもしれません。

ファイナンシャル・プランニングは資産の最大化が目的ではなく、楽しく前向きに生きるための方法論とのことでした。人生の中で考えなければならないタイミングがあれば冷静に考えること、ときにはプロに任せることも大切だと教えていただきました。

